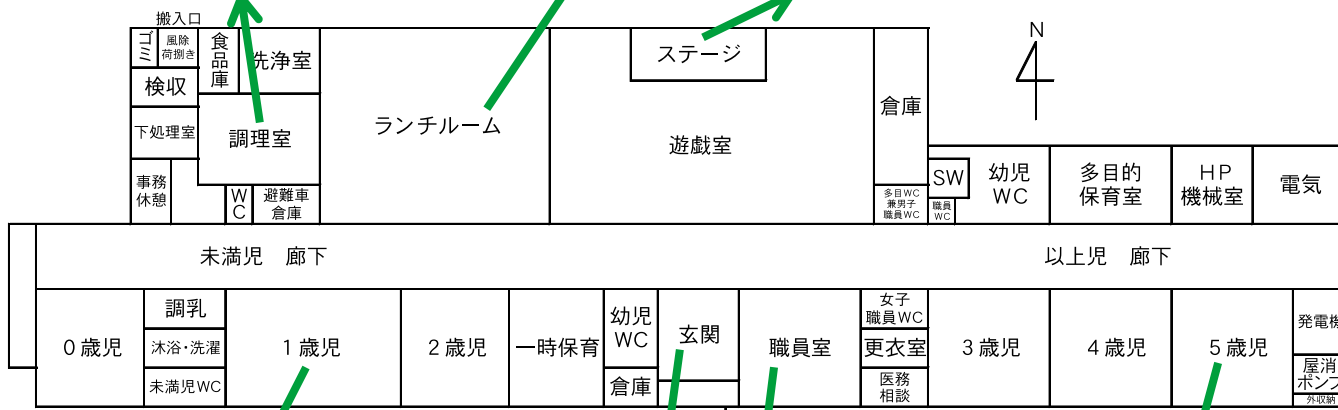


八森子ども園新園舎が完成

11月4日から保育を開始しました



八森子ども園新園舎レイアウト



木材をふんだんに使用した園児にやさしい園舎

八森地区の3保育園を統合して建設することとしていた、八森地区統合子ども園（以下、新八森子ども園）がこの度完成しました。

園舎は木造平屋建てで、延床面積1,464㎡、秋田杉をふんだんに使用しており、園舎全体の約70%にもおよびます。そのため、園舎内はやさしい木のおいとぬくもりに包まれており、園児たちのびのびと活動することができます。

また、「地中熱ヒートポンプ」と「太陽光発電」の設備も導入し、自然エネルギーを有効活用した、低炭素型社会に対応した施設にもなっています。冬季、夏季の厳しい気候条件においてもCO2削減を通して地球温暖化の防止にも貢献できます。

新八森子ども園には園児の元気な声が響いています

新八森子ども園は、11月4日に78名の園児をもって開園し、さっそく元気な声が響き渡りました。園庭にはブランコやジャングルジム、すべり台、砂場があり、園児たちは遊びたい遊具で思う存分、楽しんでいました。園庭は広く、友達を追いかけたり、かけっこしたりして遊びまわったりも見られました。

また、新八森子ども園の初代園長には、旧観海子ども園の笠原益子先生が着任しました。副園長には、旧岩館子ども園の川尻悦子先生と旧八森子ども園の川尻滝子先生が就き、笠原園長をサポートします。



落成記念式典で新園舎の完成を祝福

11月1日には落成記念式典が行われ、秋田県議会議員長能登祐一様をはじめとして、約50名の関係者が参加し、新八森子ども園の完成を祝いました。

